



たかといちどいだよい

令和8年 7月 第129号
たかといちどい保育園

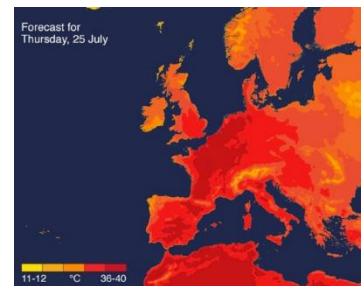
もうすぐ「酷暑」の夏が

園長 宮田 孝一

二十四節気は早くも夏至となり、日の出の方角が少しずつ南下を始めました。雨の多い6月でしたが、こどもたちは元気に保育園の生活を楽しんでいます。

今年は台風6号・7号が立て続けに近畿地方に接近し、各地で浸水やがけ崩れなどの災害が発生しました。

日本気象協会の予測では、7月から10月にかけて、平年並みかそれを上回る数の台風が日本列島に接近するようです。ちなみに8月の予測数は、4～6個となっています。梅雨もまだしばらくは明けそうになく、水不足の心配はなさそうですが、大雨や暴風に対する備えを怠ってはならないようです。



6月20日～25日にかけて、西ヨーロッパを「熱波」が襲いました。フランスのシャントネという田舎町（パリから南西に400 km、大西洋まで60 km）で、最高気温44.6℃!!が記録されたそうです。この高温をもたらした高気圧は、その中心を東部に移し、先週末にはオランダやドイツで、40℃を超える気温が記録されました。

ケルン在住の知人に状況を尋ねると、「（熱波が襲来）それでも、どこにもエアコンがないドイツです。みんな死にそうにしてるけど、大丈夫です😊」と返信がありました。湿気の多い日本とは違って、西岸海洋性気候に区分される欧州中西部の夏は、「湿度が低くカラッとした暑さで過ごしやすく、じりじりとまぶしい太陽が降り注ぎ、夜遅くまで明るいのが特徴（ウィキペディアより引用）」らしく、エアコンの普及率が極めて低いのです。

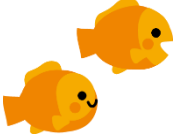
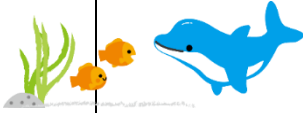
日本やアメリカの家庭におけるエアコン普及率は約90%ですが、ヨーロッパは、約20%だそうです。欧州でエアコンが普及しない背景には、経済、歴史、建築、政策などに加え、様々な複合的要因があるとのことですが、異常な暑さで死者も急増する事態に、欧州の人々の我慢も限界に達してきているのではないのでしょうか。

今年4月、気象庁は、「気温40度以上になる日を酷暑日とする。」と、気象用語を新設しました。25℃以上を「夏日」、30℃以上を「真夏日」、35℃以上を「猛暑日」と呼んできましたが、とうとう40℃以上の呼称「酷暑日」が定められたわけです。

これは、日本において気温40℃以上の日が、常態化したことを示しています。

「猛暑日」が発表されたのは2007年4月です。日本の夏の暑さは、20年を待たずに新しい定義が作られるほど、急激に上昇しているのです。気温40℃以上の日は、人間の体温を超え、命に危険をおよぼす環境となります。ためらわずにエアコンを使用し、不要な外出を控え、高温から身を守る行動が必要となります。暑さ対策は、もはや「防災」ですね。

7月の予定

月	火	水	木	金	土
		1 誕生会	2 体育あそび ③④⑤プール	3 眼科健診 (4.5歳児クラス)	4 個人面談 (うさぎグループ)
6	7 七夕の会	8	9	10	11 避難訓練 個人面談 (きりんグループ)
13	14 救急訓練 体育あそび	15 発育測定	16	17	18
20	21	22	23	24	25 個人面談 (ぞうグループ)
27	28	29	30	31 	



《近場でこどもとおでかけ》



みなさん休日は、何をしようかな〜？と、悩んでいませんか？ 5歳、2歳の娘がいる私も「明日のお休みどこ行く？」と、休日前は必ず聞かれ、日々悩んでおります（笑）私が子どもと一緒に出掛けてよかったスポットをいくつか紹介したいと思います。

まずは『みなとやま水族館』廃校になった小学校をリノベーションした水族館で、規模は小さいですが、全ての展示が子ども目線の高さになっており、靴を脱いでのんびり観ることのできるブースもあるので、赤ちゃんでも気兼ねなく連れていけます♪また、ニジマス釣りが出来て、自分で釣ったニジマスを調理してもらい食べる体験もでき、良い食育になります。

次は『神戸布引ハーブ園』四季折々の草花が咲いており、ロープウェイにも乗ることが出来るハーブ園。なんと、未就学児は無料で楽しめます！！秋はハロウィンで、本物の大きなかぼちゃが置かれたり、クリスマスシーズンにはツリーが飾られ、クリスマスマーケットも開催されたりとフォトブースもいろいろとあるので我が子の可愛い写真がたくさん撮れちゃいます。

のんびりカフェに行きたい時は、ららぽーと甲子園にある『スターバックス family friendly』ここではキッズフラペチーノが注文できます。自分でチョコソースやバニラシロップ等のカスタマイズを楽しむこともでき、スターバックスのエプロンもつけさせてもらえます。塗り絵ももらえるので、ママパパも少しのんびり過ごすことができます。

子どもおでかけスポットで皆さんのおすすめがあれば、また教えてください♪ 休日もパパママ業共に頑張りましょう！

坂本 まりか



あやぐみ



食べることが大好きなあさひ組の子どもたち。給食やおやつの時間になり、準備をしていることに気が付くと「まんま！」と言うかわいい声がたくさん聞こえてきます。食材を小皿に取り分けて渡すと、上手に手で掴んで口まで運び、大きな口を開け、もぐもぐとよく噛んで食べています。また、保育士がスプーンに食材を乗せて渡すと、自分でスプーンを持って口まで運ぶ姿も見られるようになりました。今後も、保育士が口を動かして見本を見せたり、「おいしいね」と声をかけたりすることで、しっかりと咀嚼をし、楽しく食事ができるようにしていきます。

今月は、水遊びをしたり、寒天や氷などに触れたりする機会を作り、夏ならではの遊びを楽しめるようにしていきます。



ひかりぐみ



体操が好きなひかり組のこどもたちは、「わお！」「だんだん！」と、朝から大好きな体操をリクエストして、みんなで音楽に合わせてノリノリで踊ることを楽しんでいます。サーキット遊びでは、意欲的にはしごを跨いで歩いたり、マットによじ登ったりするなど、様々な遊具に興味をもつてのびのびと体を動かして楽しむ姿が見られました。今後も、こどもたちの発達に合わせた遊びや遊具を取り入れたり、保育士も一緒に走って遊んだりすることで、のびのびと体を動かす楽しさが感じられるようにしていきます。

今月は、ズボンや靴下の着脱の際に、保育士が傍で声を掛けながら丁寧にやり方を伝えていきたいと思います。また、自分でできた姿を十分に認めることで、自分で意欲的に行えるよう関わっていきます。



にじぐみ



先月は、様々な遊具を使って体を動かして遊びました。屋上ではジャングリングで遊ぶことが大好きです。はしごなどの足場にしっかり足を掛け上まで登ったり、滑り台を滑り降りたりと楽しんでいます。また、テラスやひだまりなどでも、鉄棒や巧技台、平均台など、様々な遊具を使って体を動かしています。今後も暑い日が続きますが、熱中症等に留意しながら、たくさん体を動かして遊べる環境を整えていきます。

今月は、プールや水遊び後や日々の着替えの際などに、丁寧に着脱の仕方を伝えたり、自分でやろうとしている姿を十分に認めたりしながら、進んで衣服の着脱に取り組めるよう関わっていきます。またその中で、脱いだ衣服の畳み方をくり返し丁寧に伝え、身につくようにしていきます。

よいしょ
よいしょ





きりんグループ



6月に新しい友だちが1名入園し、20名で過ごしています。先月は、みんなで食事のマナーについて確認しました。食べ物を口に入れたままおしゃべりしないことや、噛まずに急いで食べないことなどを伝えました。給食やおやつ中に、そら・ゆめ組のこどもたちが「30かいかんだよ」と知らせる姿にほし組も意識してたくさん噛んで食べていました。これからも、マナーを守って食べられるように確認したり、声をかけたりしていきます。

こどもたちは色水遊びが大好きで、好きな色を混ぜたり、ジュースに見立てたりして楽しんでいます。「つぎはみどりもいれたい」と声が上がっています。今月は、色水遊びだけではなく、氷や泡などの夏ならではの遊びを楽しみたいと考えています。



いっぱい
かんだよ～



うさぎグループ



梅雨に入っても湿度が低い日も多く、過ごしやすかったので戸外でたくさん遊びました。うさぎグループの部屋から見える雲が黒いと「もうすぐ あめふるんちゃう?」「かみなりなるかな?」など天候を気にする声が聞こえてきました。雨の後、園の外へ出て、雨に濡れた草木や花に触れたり、雨粒をちゃんと触ったり払ったりしました。駐車場前の花壇にナスができていて「ちいさいなー」と言いながら観察していました。だんご虫も見つけて大興奮でした。これからも生き物や植物に触れたり、一緒に空を見上げ、何雲か調べたりしていき、身近な自然環境に興味をもてるようにしていきたいと思います。

着替える機会が増えているので、来月は衣服を裏返したり丁寧に畳むよう声を掛け手を添えたりし、身の回りのことを自分で丁寧に組み立てよう援助していきます。



ぞうグループ



4月からぞうグループで育てているナスはどんどん生長しています。毎日観察を続けている中で、アブラムシが大量について、少し元気がなくなってしまいました。アブラムシを駆除するとナスの花が咲き始め、「おはなさいてる!」「つぼみがいっぱいあるね」と喜んでいたこどもたちでした。6月下旬、ようやく実が付き始めました。こどもたちの発見や気づきを受けとめ、生長を一緒に見守っていききたいと思います。

先月は歯科衛生士の方に来ていただき、歯磨き指導を行いました。歯ブラシの持ち方や磨き方、歯磨きすることの大切さなど、こどもたちと共有しながら、正しく丁寧に磨けるようにしていきたいと思います。

